

田辺市・橋本市での NPO 出張相談

和歌山県 NPO サポートセンターでは以下の 2 カ所で毎月 1 回、NPO 出張相談会を開いています。**NPO 法人設立・運営・役員変更・定款変更・認定 NPO 法人等に関する様々なご相談を受け付けています。**ご利用は無料ですが、事前に各センターへ団体名・相談内容等をお知らせいただき、予約をお願いします。なお、1 件あたりの相談時間は原則として 1 時間以内です。

田 辺 市

田辺市市民活動センター

- 相談日：原則毎月第 2 金曜日の 10 時半～16 時
※ 8 月は第 1 金曜の 7 日となります
- 場 所：田辺市民総合センター 1F
- 相談予約電話番号：0739-26-9833（FAX 同番号）
- 対 象：田辺市を中心とした紀南エリアで活動中、または活動しようとする団体

★上記とは別に、オンラインによるご相談、概ね 5 名以上のグループを対象とした県内出張 NPO 相談も実施しています。お気軽にお問い合わせください。

橋 本 市

橋本市市民活動サポートセンター

- 相談日：原則毎月第 2 水曜日の 10 時～16 時
- 場 所：橋本市保健福祉センター 2F
- 相談予約電話番号：0736-33-0088 FAX：0736-33-0095
- 対 象：原則として橋本市内に拠点を置き活動中、または活動しようとする団体

和歌山県 NPO サポートセンターからのお知らせ

■ NPO・ボランティアのための助成金講座

毎年秋は各種助成金の募集が多い時期。助成金事業の傾向と対策を学び、助成金獲得に向けて準備を進めませんか。

【日 時】7 月 18 日（土）13:30～15:00

【場 所】和歌山ビッグ愛 9 階会議室 C+ZOOM オンライン

※終了後、YouTube で見逃し配信をおこないます。

【講 師】阪口 晃彦（和歌山県 NPO サポートセンタースタッフ）

【定 員】会議室 20 人・ZOOM50 人

【参加費】無料

参加希望の方、見逃し配信をご希望の方はこちらの二次元コードからお知らせください。**見逃し配信のご希望は 7 月 18 日以降も随時受け付けます。**



■子育て交流会「カンボジア孤児院での子育てから見た日本の子育て」

カンボジアで孤児院の運営に携わるメアス博子さん（海南市出身）を迎え、カンボジアの子育て事情についてうかがいながら、日本の子育てについてみなさんで考えます。

【日 時】8 月 8 日（土）13:30～15:30

※終了後、YouTube で見逃し配信をおこないます。

【場 所】和歌山ビッグ愛 9 階会議室 C+ZOOM オンライン

【参加費】無料

【定 員】会議室・ZOOM 各 30 人

参加ご希望の方、見逃し配信ご希望の方は申し込みをお願いします。右の二次元コードからお申し込み可能です。



NPO に関するご相談は

和歌山県 NPO サポートセンター

（県民交流プラザ和歌山ビッグ愛 9F）

TEL：073-435-5424 FAX：073-435-5425

メール：info@wakayama-npo.jp URL：https://www.wakayama-npo.jp/

受付時間：火曜日～土曜日 9:00～20:50 日曜日 9:00～17:30

休館日：月曜日・祝祭日・年末年始（12/29～1/3）

【指定管理者：認定特定非営利活動法人わかやま NPO センター】

和歌山県環境生活部 生活局 県民生活課

（和歌山県庁本館 2F）

TEL：073-441-2053 FAX：073-433-1771

メール：e0313002@pref.wakayama.lg.jp

URL：https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/031300/npo/

〔本紙は古紙再生率 70%以上の再生紙を使用しています〕

和歌山県 NPO・ボランティア情報紙 わか愛愛

wakayama

ai ai

隔 月 発 行

2026
July
vol.139

TAKE FREE

和

になろう 県内で市民活動を行う
団体や人を紹介します

NO.85 合同会社 Knots Community

豊かな自然が広がる紀美野町への移住

大阪府泉佐野市出身の片桐翔太さんは、国内外を問わず、一つの地域に一定期間滞在しながら、暮らすように旅をしてきたといいます。当時、片桐さんは建築家を志しており、建築や、まちの背景にある、人の営みや価値観に触れることが、片桐さんにとって大きな学びになったといいます。そうした国内外での実体験を経て 2020 年、自然豊かな紀美野町へ移住しました。

「地域が主役」合同会社 Knots Community の設立

地域に関わるうえで大切にしているのは、地域へのリスペクト（敬意）です。地域にある歴史や暮らし、人のつながりを大切にしながら関わることで、少しずつ信頼関係が生まれていくと片桐さんは語ります。



復活した国吉盆踊り

一方で、地域に必要な活動を継続していくためには想いだけでなく、事業として続けていく仕組みも必要だと感じていました。そこで、組織としての信用

を高め、活動の価値を育てていくため、2022 年に合同会社 Knots Community を設立しました。社名の「Knots」には、地域にある人・自然・文化・外から訪れる人を結ぶ「結び目」「つなぎ目」になりたいという想いが込められています。あくまでも主役は地域です。片桐さんは、地域の行事や日々の関わりの中で、住民からの頼まれごとにも向き合いながら、少しずつ地域との関係性を築いてきました。その一例が、地区の盆踊りの復活に向けた取り組みです。

シェアハウスからゲストハウスの立ち上げへ

会社設立と同じ 2022 年、片桐さんはシェアハウス「Shared Residence Flag」を立ち上げました。現在は、地域おこし協力隊員などが入居し、暮らしを共にしています。

この場所は単なる住まいではなく、地域と関わる入口でもあります。滞在する人たちは、日々の暮らしを通して地域を知り、地域の寺社の清掃や行事、イベントなどにも関わることで、少

しずつ地域との接点を持っています。片桐さんが旅の中で経験してきた、異なる文化や生活様式、人との出会いから生まれる学びを、紀美野町でも育んでいきたいという想いがあります。



ゲストハウス内観

さらに同じ敷地内では、一棟貸しのゲストハウス「Guest House Pin」も運営しています。利用者の多くは、自然の中の滞在や、地域での暮らしに関心を持つ若い世代です。まずは短期滞在を通して紀美野町の空気や暮らしに触れてもらい、その先に、長期滞在や関係人口、さらには移住・定住へとつながるきっかけになればと考えています。

「共助」の仕組みで、100 年先も続く里山を

自ら地域に飛び込み、地域の人たちと関係を築いてきた片桐さん。かつての里山にあった、お互いに助け合う「共助」の精神は、人口減少や高齢化が進む今の時代にこそ必要だと感じています。

片桐さんが掲げるビジョンは、「100 年続く里山へ。＂共に生きる＂拠点から未来を創る」ことです。Knots Community がその持続可能なモデルケースとなり、地域の人、移住者、訪れる人がそれぞれの立場に関わりながら、次の世代へ豊かな里山をつないでいく。

その挑戦は、紀美野町の中だけに留まらず、周囲の地域とも関わりを深めながら、少しずつ広がりを続けています。



シェアハウスでのイベントの様子

合同会社 Knots Community

640-1363 海草郡紀美野町田 112

https://knotswakayama.wixsite.com/flagpin



INDEX

表紙：合同会社 Knots Community

p.1：特集 現代ボランティア事情

p.2：新規設立 NPO 法人、助成金＆公募情報、お知らせ

p.3：和歌山県 NPO サポートセンターからのお知らせ

特集 現代ボランティア事情

和歌山県 NPO サポートセンターが実施しているアンケートでも、NPO・ボランティア団体の課題として「団体の活動に参加してくれる人が少ない」という声は少なくありません。市民のみなさんのボランティアへの関わり方はどうなっているのでしょうか。

「ボランティア経験あり」は少数派

内閣府が 3 年に 1 回実施している「市民の社会貢献に関する実態調査」。昨年度の調査では全国の 20 歳以上の 3,700 人あまりが回答。その結果が内閣府 NPO ホームページで公表されています。

それによると 2024 年の 1 月から 12 月の間にボランティア活動に参加したことがあると答えた方は 16.3% に過ぎず、6 人に 1 人しか参加していないという計算になります。またその割合は前回 3 年前の調査と比べて 1.1 ポイント減少しています。

ボランティア活動への参加理由を複数回答で聞いた結果は、

- ①社会の役に立ちたいと思ったから（48.5%）
- ②自己啓発や自らの成長につながると考えるため（29.2%）
- ③自分や家族が関係している活動への支援（25.4%）
- ④知人や同僚等からの勧め（14.3%）
- ⑤職場の取組の一環として（13.7%）と続いています。

参加した活動分野については、

- ①子ども・青少年育成（26.9%）
- ②まちづくり・まちおこし（25.9%）
- ③地域安全（20.5%）
- ④自然・環境保全（19.8%）
- ⑤芸術・文化・スポーツ（17.9%）
- ⑥保健・医療・福祉（16.6%）と続いており、NPO 法人が掲げる活動分野の多さとは異なる傾向がみられます。

【参考】和歌山県内の NPO 法人が掲げる活動分野 TOP5

- ①保健、医療又は福祉の増進を図る活動（65.7%）
 - ②子どもの健全育成を図る活動（65.4%）
 - ③まちづくりの推進を図る活動（65.2%）
 - ④社会教育の推進を図る活動（59.6%）
 - ⑤活動を行う団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助の活動（58.3%）
- ※2026 年 3 月 31 日現在

「時間・情報がない」？！

逆にボランティア活動に参加したことがない方にその理由を複数回答で聞いた結果は、

- ①参加する時間がない（45.8%）、
- ②ボランティア活動に関する十分な情報がない（35.8%）
- ③参加する際の経費（交通費等）の負担（22.4%）
- ④参加するための休暇が取りにくい（20.8%）
- ⑤参加するための手続きが分かりにくい（16.8%）と続きます。

多くの方は「ボランティアに参加する時間がない」「ボランティアに関する情報がない」と感じており、またボランティア活動に参加するための負担感もみられるようです。

弱点を逆手に取ると？！

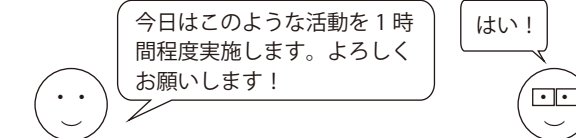
ボランティア活動に参加しない理由を逆手に、ボランティア活動のプログラムを組むとどうでしょうか。

例えば、県内のある団体が主催する清掃活動は、毎月第 1 週の週末、午前の 1 時間にとどめています。この意図について団体は「活動日を固定しわかりやすくし、疲れないうちに切り上げたい」としています。活動については様々な会社や店舗にポスターが掲出されて目につきやすくなっています。また、清掃活動ですので事前申し込み等は不要で、当日現場に行けば気軽に参加することができます。活動の最後にはごみを集めて記録用の写真を撮影していて、参加者の達成感にもつながっていると考えられます。これだけで、先に挙げた「ボランティアに参加しない理由」のいくつかは解消できており、これらの工夫もあってか、毎回 50 人前後の参加者がいるといえます。

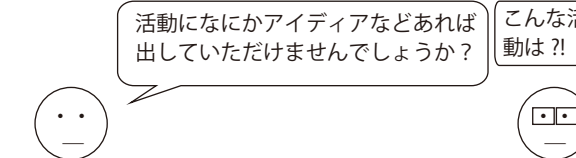
活動に参加して成功体験を重ねると、もっと活動したい、と考えるようになる方も増えるかもしれません。最初は短時間の体験会など、参加の間口はできるだけ広くしておき、より長時間、より多くの参加の機会を求める方がいらっしゃったらそちらに誘導する、そのような参加の導線をつくってみるのもいいかもしれませんね。

こんな「参加の導線づくり」が理想？！

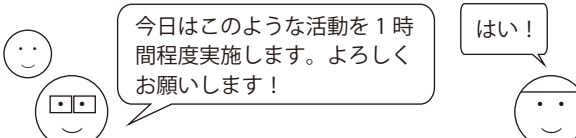
① 活動に触れていただく段階は「気軽に」「楽しく」



② 継続して参加される方に徐々に活動づくりに関与いただく



③ やがて団体の主軸メンバーに…



【出典】内閣府 NPO ホームページ 統計調査等のページ

<https://www.npo-homepage.go.jp/toukei>

新規設立 NPO 法人

◎NPO 法人 笑門福来（岩出市）

2026 年 5 月 15 日認証 代表者 長尾 礼子

安全・安心に遊べる場や、子ども食堂などの地域コミュニティの場づくり、

このコーナーでは、前号発行以降に NPO 法人の新規設立認証を受けた NPO 法人をご紹介します。

地域のみなさんへの食育や健康増進、文化交流活動などを展開します。

Instagram アカウント minnasyokudou

助成金 & 公募情報

Panasonic NPO/NGO サポートファンド for SDGs

【対象団体】 国内助成：日本国内の貧困の解消、または貧困と関連のある問題の解消に向けて取り組む NPO
海外助成：新興国・途上国など、支援を必要としている国・地域で貧困の解消、または貧困と関連のある問題の解消に向けて取り組む NGO
※ 民間非営利組織であり、設立から 3 年以上であることなどの条件もあります

【募集区分】 組織診断からはじめるコース… 1 年目に組織の優先課題と解決の方向性を明らかにし、組織基盤強化計画の立案と実施、2 年目以降は組織課題の解決や組織運営の改善に取り組むコース。助成額は 1 団体上限 150 万円（1 年目）
組織基盤強化コース…既に組織の優先課題と解決の方向性が明らかで、立案した組織基盤強化計画に基づいて、1 年目から具体的な組織課題の解決や組織運営の改善に取り組むコース。助成額は 1 団体上限 200 万円（各年）

【募集期間】 7 月 15 日（水）～7 月 31 日（金）必着

【主 催】 パナソニック ホールディングス株式会社

詳しくはウェブサイトをご覧ください。こちらのブログ記事から募集ページへのリンクを掲載しています。

<https://wnc.jp/subsidies/19192>

花王ハートポケット倶楽部助成事業

【対 象】 和歌山県内で活動する NPO・ボランティア団体（法人格の有無は不問）による、これから始めたい、または、充実させようとしている「地域コミュニティに主体的に関わる事業」
事業対象期間は 2027 年 1 月～ 12 月。

【助成区分】 スタートアップ助成…設立 2 年未満の団体 助成額 5 万円、4 団体
パワーアップ助成…設立 2 年以上の団体 助成額 10 万円、3 団体

【募集期間】 7 月 10 日（金）～8 月 21 日（金）消印有効

【主 催】 花王ハートポケット倶楽部・花王株式会社

詳しくはウェブサイトをご覧ください。7 月上旬に募集要項を公開します。 <https://wnc.jp/works/11664>

和歌山子ども食堂支援事業補助金

【対象団体】 ①これから子ども食堂を始めようとしている団体
②既存の子ども食堂運営団体

【補助金額】 ①備品購入費や改修費など上限 40 万円、学習支援や多様な世代交流に要する経費など上限 20 万円、②学習支援や多様な世代交流に要する経費な

ど上限 10 万円

【締め切り】 12 月 18 日（金）ですが、予定数に到達次第終了
【窓 口】 和歌山市内の方は和歌山県庁こども未来課、和歌山市以外の方は最寄りの振興局

詳しくはウェブサイトをご覧ください。 <https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/040200/kodomoshokudo/d00219759.html>

お知らせ

メールマガジン配信登録受付中！

和歌山県 NPO サポートセンターでは毎月 1 日・15 日（休館日に重なる場合は翌開館日）にメールマガジンで、直近半月にいただいたイベントや助成金情報などのヘッドラインをお届けしています。

配信登録は右の二次元コードで受け付けています。ぜひ登録ください。



ボランティア募集情報も掲載可能！

団体データベースへの登録を受け付けています

和歌山県 NPO サポートセンターでは和歌山県内の NPO・ボランティア団体のデータベースを運営しています。このデータベースでは、地域や活動分野、ボランティアや寄付の募集の有無などで絞込検索が可能です。

和歌山県 NPO サポートセンターでは、「こんなボランティア活動はないですか？」というお問い合わせをよくいただきます。もしボランティアの募集をされている場合は、ぜひご登録ください。活動現場での支援だけではなく、在宅でもできる活動、短時間でもありがたいという活動など、様々な形態の活動もあればぜひご紹介ください。

新規登録や登録内容の変更はオンラインで受け付けています。右上の「データベース登録」の二次元コードからアクセスしてください。パソコンからの入力をご希望の方は和歌山県 NPO サポートセンターまでメールでお知らせください。



データベース閲覧



データベース登録

サポセンに寄せられるイベント・助成金等の情報はこちらから。イベント情報は随時受付しています。



イベント情報



助成金情報

サポセン SNS 随時更新中！



Facebook



X (旧 Twitter)



WINPOSC Instagram